

言葉の東西(ファイルNo.27)

西岸良平さんの漫画を原作とした映画『ALWAYS三丁目の夕日』は、昭和三十年代の東京の下町が舞台となっていました。この映画のなかで面白いシーンがありました。食卓でスキ焼を囲むのですが、この家に預けられている関西生まれの女の子が「これはスキ焼ではない」と怒り出すのです。スキ焼きに入っていた肉が牛肉ではなく、豚肉だったからです。

関西では、スキ焼といえば牛肉です。食べ物肉といえは、関西では牛肉ですが、関東では豚肉なのです。このような違いがどこから生まれたか、また、東西の言葉の違いについて、調べてみました。

◎肉まん、豚まん

日本で一般庶民がおおっぴらに牛肉を食べるようになったのは、明治時代以降です。当時、肉といえば牛肉で、東京では洋食店が人気。転機は日清、日露の戦争でした。戦地に牛肉のカツレツが送られたため、牛肉不足となりました。そこで注目されたのが豚肉でした。トンカツが関東に広まり、豚肉文化が定着したのです。だが、関東ほ

ど洋食店が多くなかった関西には牛肉文化が残りました。

小麦粉、イースト菌、酵母、ベークンパウダーなどをこね、発酵させて柔らかい皮を作り、この皮で具を包み蒸し上げた饅頭が中華まん(中華饅頭)です。日本には大正時代に中国から伝わり、各地で食べられていました。包む具材は餡(あん)や豚肉ですが、餡なら「あんまん」と呼ばれます。問題は具材が豚肉の場合です。関東ではこれを「肉まん」、関西は「豚まん」と呼びます。理由は分かりやすいですね。関東の「肉まん」の肉とは豚肉を指します。関西で「肉まん」などといったら「牛肉が入ってるんか」と言われかねません。東西の文化の差ですから仕方がありません。罪を憎んで人をニクマン、という駄洒落でおさめておきましょう。ちなみに肉を「にく」というのは音読み、訓読みは「しし」。肉置き(ししおき)とは肉付きのことです。

この豚肉入り饅頭ですが、関西ではカラシをつけて食べます。有名専門店で、客が勝手につけたのが始まりです。その後、この店が自家製カラシを持ち帰り用につけるようになりました。東京の「肉

まん」は具材の味付けが濃いので何もつけません。九州では酢醤油、本場中国は黒酢で食べます。

各地にそれぞれの食文化があり、食文化の差が言葉にも出ます。現在、居酒屋など外食産業でご禁制となっている「レバ刺し」は関西では「生レバー」と呼びます。大阪の「串カツ」は、東京では「串揚げ」。言葉とは直接の関係がないものを付け加えると、カレーに生玉子は関西独特。明治末の東京では、カレーはルーと飯は別々の器に入れて出されました。関西は同じ皿で、そのうえ、ソースをかけ混ぜ合わせて食べました。

◎ちよう、まち

地名の漢字の読み方は東西で異なります。「町」は、東日本では「まち」、西日本では「ちよう」と読みます。あくまで傾向であって例外もあり、大阪市内でも混在しています。大陸文化の影響が濃かった西日本では、音読みに抵抗がなかったと推測されています。谷を「や」と読む地名は関東から東北にかけて多くあります。古くからの方言です。

人名(名字)は、東は濁り、西は澄みます。山崎は、西ではヤマサキ、東はヤマザキ。歌手でいえば、北海道出身の中島みゆきさんはナカジマ、鹿児島生まれの中島美嘉さんはナカシマです。

便利でシンプル
ガスコンロ
【水なし片面焼きグリル】

台数限定
30台

あじわざ
PA-N40VA-R/L

1年メーカー保証付



今売れています!!

定価: 48,384円(税込)
23,800円(税込)

健康ライフ
100%

女性の半数が敏感肌?



肌は加齢による老化が急激に起こります。目に見えるところです。女性に敏感肌になるのは当然でしょう。化粧品メーカーの調査では、女性の半数近くが自身の肌を「敏感肌」と思っているそうです。半数近くならそれは、普通肌ではないでしょうか。

実は、敏感肌という病名はありません。医学的な定義もありません。一般的には、ちょっとしたことでトラブルになる肌を敏感肌と言っています。女性の多くが自身の肌を敏感肌と認識しているのは、みんな何らかの肌のトラブルを抱えているからでしょう。つまり、多くの女性は敏感肌ではなく、肌は敏感なのです。肌は敏感で、日焼けや肌荒れに気を遣うのは悪いことではありません。

★簡単キムチ風ゴーヤチャンプル★

- ①ゴーヤを縦半分に切りワタを出し、3ミリ程度に斜め切りにし軽く茹でる(水きりすると栄養が損なわれるので、そのままザルにあげる)。
- ②オリーブオイル数滴を落としたフライパンで茹でたゴーヤを軽く炒め、カニカマ、玉子を落とし2~3分炒める。オイスターソース適量、キムチの素で味付けしできあがり。

夏を乗り切るには最適のスタミナ料理。



「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。

わが家の自慢料理
〈滋賀県栗東市 藤原幸子様〉